

★大川知子先生（川西・加茂小学校） 学級通信 最終号より

1. 遠足は、子どもの一番の楽しみ

- ・行事の精選、授業時間の確保、学力低下→→だから遠足の回数を減らす、簡単な遠足にする、遠足に時間をかけない→→そんなアホな とんでもないことや 夢を奪うな
- ・子どもはとても楽しみにしている。リュック・水筒・おやつ・弁当は遠足のシンボル
- ・おやつは200円、この制限がうれしい。 自由に関わせるのはもっと後でいい。
- ・去年と同じはおもしろくない。去年より少しでもいいものをつくろう。
- ・「遠足のしおり」を見て子どもはワクワクする。そんなしおりをつくりたい。

2. 遠足は、子どもを育てる絶好の機会

- ・下見は絶対にする。歩く側はどちら？便所はどこ？便器の数は？弁当の場所はどこ？遊ばせる範囲は？他の学校がどれくらい来る？時間の配分は？あの子は？雨の時は？
- ・引率の仕方では教師の姿勢があらわれる。並ばせ方、集合の仕方、電車の乗せ方、歩かせ方、公衆道徳→→集団行動・社会行動を教える場でもある→→安易に班で行かせるのはダメ→→本当の自由行動とは、そんなに簡単なものではない。
- ・車いすの友だちは一緒に行けるの？ どうやって連れていくの？ これも勉強。
- ・弁当の食べ方はとても重要。ここで学級づくり・仲間づくりをしていく→安易に好きな者同士で食べさせるのはダメ→自由と自分勝手の違い→→ 弁当の輪の感動

3. いじめの発見のためには

- ・いじめは発見が早いほど解決も早い→→でも、いじめは先生の見えるところではなかなか起きない→→だからこそ休み時間に子どもと一緒に遊ぶことが大事。
- ・子どもの小さなサインに気づいてやる。子どもは言いたくても言えないのだ。

4. いじめをなくすためにしておきたいこと ～つながりと感動～

- ・いじめはその子の欲求不満や自尊感情の低さ、愛情不足から生まれてくる。
- ・自尊感情を高めるために→→役立ち感、存在感、夢 「オレもなかなかやるな」
- ・いじめよりおもしろいもの、それは「つながりと感動」体験。
- ・「つながりの機会」をつくる→→班活動、遠足の弁当、授業での支え合い（算数、体育等）構成的グループエンカウターの授業・・・それは授業づくり、学級づくり
- ・「つながりと感動」を知らせる→→朝の会、学級目標、学級通信、家庭訪問、作文
- ・各自の自尊感情と共に、学級の自尊感情を育てていく 「ボクらのクラスはええぞ」

※ 今後の予定

- ・5月19日（土） 授業は教師の命 授業づくりで考えたいこと
- ・6月16日（土） 子どもと楽しむゲームあれこれ （実技研修）
- ・7月21日（土） 教師悩み相談室 夏休みにしておきたいこと
- ・8月18日（土） 夏季セミナー（仲島・大路・曲里） 兵庫県民会館